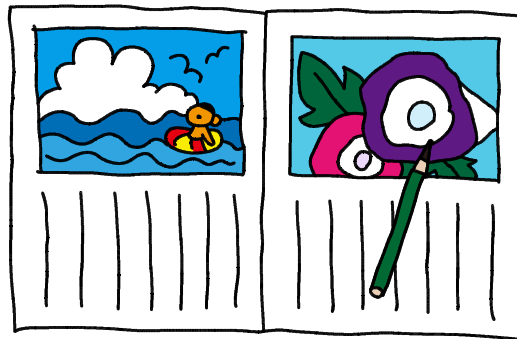


校長室だより 8月号

夏休みが始まり、今日で13日目です。夏休みは38日間あるので、約3分の1が過ぎたこととなります（いや、あと夏休みが3分の2、残されているということでもあります）。お子さんの家庭での生活は、どうでしょうか。早寝・早起き・朝ご飯、規則正しい生活はできているでしょうか。保護者のみなさんは、夏休みの課題の進み具合も気になるころだと思います。夏休みには、何かテーマを決め自分で調べたり、実験・観察等で試してみたり、作品をつくってみたり、普段ではできないようなことを何か一つでもできたらいいなと思います。また、友達としっかり遊ぶこと、自分でルールを決めて過ごしたり、状況をよく判断し自分で考えて行動したりことことも、夏休みの大切な体験の一つだと思います。残りの夏休み、家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。



5・6年 つばくろの家

7月22日～30日 実施
場 所：西麻植教育集会所
参加者：5・6年児童
地域・保護者の方々
小学校教職員

本校の伝統である「つばくろの家」が本年度も実施されました。48年前に始まったこの取組は、形を変えながら現在も受け継がれています。つばくろの家の意義として、

- 自分のことだけでなく友達のことを考えた行動をすることで、助け合ったり、譲り合ったり、認め合ったりする態度が育つ。
- 自分の考えを述べ、友達の意見を聞くことによって、人による考え方の違いを知る。そして、友達の考えを認めながら、自分の考えをより深めることができる。
- 寝食を共にすることによって仲間意識が高まり、新たに友達のよさを発見したり友達のつながりが増したりして、助け合い、支え合える仲間づくりにつながる。
- 基本的生活習慣や集団生活の仕方が身につく。

と考え、5・6年児童を小グループに分け（本年度は7グループ）実施しています。毎回、講師の方が変わりますが、いつも内容が充実しており、同和問題をはじめとする人権問題や自分の生き方について、子どもたちは真剣に考えていました。西麻植の地域の教育力の高さを強く感じました。（県下でも、類を見ない取組です）



「つばくろの家のちかい」をみんなで読みあげます



人権学習では、いろいろな方からお話を聞き、考えます

